

早期胃癌に対する究極の治療法である EMR は、早期胃癌症例の増加に伴い 1980 年代半ばにスタートし、既に 20 年が経過した。外科手術に比べ、治療後の QOL の維持という点からは画期的な治療法であり、今日の技術の向上は、さらに大きな病変の一括切除を可能にした。

しかしながら、胃癌発生の危険性が高い粘膜環境をそのまま温存することから、残った胃粘膜に新たな癌が発生するのではないかと、という疑問ははじめから危惧されていた。今回の主題「胃癌 EMR 後の異時性多発を考える」は、これらに答えることを目指して企画されたが、予想どおり興味ある成績が明らかにされた。すなわち、EMR

後の異時性多発癌が、全症例の 3.8% [43/1,142] (上堂論文), 6.8% [78/1,139] (横井論文), 7.4% [14/190] (細川論文) に発見されている。異時性多発癌の早期発見には、胃粘膜そのものが発癌高危険状態であることを認識した上で、年 1 回、できるだけ長期にわたる follow up の継続が必要ながことがあらためて確認された。

早期胃癌治療に携わるわれわれは、病巣の切除のみならず、その後の胃粘膜環境をどのようにコントロールするかについて、しっかりと目を向けていく必要はないだろうか。Helicobacter pylori 除菌がどのような影響を及ぼすのか、将来の特集を楽しみにしたい。

胃と腸

12月号 (第40巻・第13号) 予告

発売予定 12月25日
定価 2,520円

主題／いわゆる側方発育型大腸腫瘍の治療法を問う

序 説	いわゆる側方発育型大腸腫瘍をめぐる話題……………多田消化器クリニック	多田 正 大
主 題	いわゆる側方発育型大腸腫瘍の定義の歴史……………昭和大学横浜市北部病院・消化器センター	工藤 進英・他
	側方発育型大腸腫瘍の病理形態学的特徴—特に顆粒型と非顆粒型の相違について……………福岡大学医学部・病理学	二村 聡・他
	いわゆる側方発育型大腸腫瘍の X 線診断……………松山赤十字病院・胃腸センター	小林 広幸・他
	いわゆる側方発育型大腸腫瘍における治療法選択のための質的(異型度・深達度)診断—(拡大)内視鏡……………秋田赤十字病院・胃腸センター	山 野 泰 穂
	いわゆる側方発育型大腸腫瘍における治療法選択のための高周波超音波内視鏡検査の有用性……………旭川医科大学・第3内科	盛一健太郎・他
	いわゆる側方発育型大腸腫瘍の治療：内視鏡治療—スネア EMR……………大阪医科大学・第2内科	安本 真悟・他
	腫瘍特性からみた側方発育型大腸腫瘍の治療—分割 EMR と ESD の位置づけ……………広島大学病院・光学医療診療部	田中 信治・他
	いわゆる側方発育型大腸腫瘍の治療：内視鏡治療—内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)……………虎の門病院・消化器内科	矢作 直久・他
	いわゆる側方発育型大腸腫瘍の治療：外科治療……………北里大学医学部・外科	小澤 平太・他
	いわゆる側方発育型大腸腫瘍の治療—私はこう考える……………五十嵐 正広・趙 榮 濟・鶴 田 修・齊藤 豊・他	津田 純 郎
	喜多宏人・他・豊永高史・他・小山 恒 男・寺井 毅・他	
主題関連研究	いわゆる側方発育型大腸腫瘍の分子生物学的特徴……………獨協医科大学・病理学(人体分子病理)	武川賢一郎・他

胃と腸 (第40巻 第12号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail : itocho @ igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itocho/

2005 年 11 月 25 日発行 (毎月 25 日発行)

1 部定価 2,520 円 (本体 2,400 円 + 税 5%)

2005 年年ぎめ予約講読料 37,050 円

(増刊号 2 冊を含む 14 冊) (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

・早期胃癌研究会は、当研究会、早期胃癌検診協会およびエーザイ株式会社の三者の共催で行われている。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2005, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・JCLIS < 日本著作出版権管理システム委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 飯村・今田・山中・小松原